

令和3年度 2月

# めいか

令和4年1月31日  
文京区立明化幼稚園

## 「日本の伝統文化」を伝える

副園長 池田 克子

まもなく立春を迎えます。子どもたちは水栽培のヒヤシンスやクロッカスの水を毎日替えたり、芽が出始めた園庭のチューリップに水やりをしたりしながら花が咲くのを心待ちにしています。一方、まだまだ寒い日が続いていますが、屋上やピロティーで、縄跳びやサッカー、宝取りや氷鬼などをして体を動かし、寒さに負けず戸外で元気に遊んでいます。

さて、先日、本園の教育の特色である「日本の伝統文化の直接体験」の取り組みとして、生田流箏曲の矢野加奈子様においでいただき、日本の伝統的な和楽器「箏」の演奏会を行いました。「箏を知っている人はいますか？」という問いかけに「テレビで見たことがある」という声が数名聞かれましたが、ほとんどの幼児は「知らない」と答え、初めて見る楽器に興味をもち演奏を聞いていました。箏の繊細な音色に聞き入る子、弦を弾く指の動きに興味をもち、まねをして自分の指を動かす子、曲のリズムに合わせて体を動かしたり、手拍子をしたりするなどの姿が見られました。幼稚園の「園歌」やとなりのトトロの「さんぽ」など、子どもたちの知っている曲の演奏では大合唱になり、箏の響きと子どもの歌声がホールいっぱいに広がりました。



また、1月の誕生会では、教師が「こま」「羽根つき」「竹馬」「けん玉」などの伝承遊びを披露しました。「すごい」「やってみたい」などと言いながら、楽しんで見ていた子どもたちは、それぞれの遊びに興味をもち、その刺激を受けて、遊びの中でも羽根つきやこま回し、けん玉や竹馬、お手玉などをする姿が見られています。昨今、家庭では、なかなか見られなくなっている遊びとなってきたからこそ、幼稚園でその遊びの楽しさや面白さを伝え、子どもたちに日本の昔遊びを伝えていきたいと思えます。

2月には節分があります。鬼のお面を作ったり豆を入れる升を作って豆まきをしたりします。3月のひな祭りでは、ひな人形を作って飾ったり、ひなあられを食べたりします。

このような行事や活動を通して、日本の伝統行事や伝統文化を子どもたちに伝え、これからも大切にしていきたいと思えます。



手回しコマ遊び（年少組）



かるた取り（年中組）



けん玉に挑戦（年長組）